



中高交流学力向上事業4年目が始まりました

今春4月26日(火)飯山市教育委員会主催で「中高交流学力向上事業」の連絡会が開催されました。4年目を迎えた今年度も引き続き県教委の支援を受け、小中高を連携させながら、児童生徒の学力向上のためになお一層の取り組みをします。

活動は、小中高一貫のカリキュラムを研究開発し全体の学力を底上げすることを目指します。特に、これまでのつまずき調査から見えてきた重点ポイントである「割合・比・比例・関数」について教材の系統性を明確にし、「量的二重数直線図(D-Lines)」や「3-Stepプリント」を用いた指導の研究実践を進めます。ご支援ご協力よろしくお願いたします。

継続して小中高での授業交流を行い、連携を強化していきます

- IC委員会事務局長・・・平塚和行(飯山北高校 数学科)
- IC委員会事務局次長・・・大池裕達(飯山北高校 数学科)
- IC事務局員・・・日台邦治(飯山市立城北中学校 数学科)
- 伊藤栄一(飯山北高校 数学科)
- 齊藤淳一(飯山北高校 数学科)

本事業は平成20年度にスタートしました。平成22年度に飯山市内3つの中学校から統合された城北中・城南中の両校とも、昨年度に引き続き授業交流を行っていきます。また小中高の一貫したカリキュラムの研究のためにも、小学校との授業交流も継続して行っています。

また飯山北高校が平成22年度から5年間、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受けることとなりました。本事業で培ってきたネットワークや教育実践はSSHにとっても本事業にとっても、相乗的に補強・補完されていくものと考えています。

さらに「北高チューター」や「D-Lines」「3-Stepプリント」の活用についても協力いただきながら、実践の成果をまとめていきたいと考えています。

「つまずき調査・学習意識調査」については、昨年度に引き続き岳北四市村すべての小6、中3、高2で実施していただき、調査の結果を分析・報告いたします。

北高の齊藤です。小中学校の授業参観等をさせていただきます。

北高の平塚です。ひき続き事務局をまとめます。

城北中学校の日台です。TTで泉台小学校6年生5時間飯山北高校1年生3時間を担当します。

北高の大池です。TTで城南中学校3年生2時間を担当するとともに、事務局次長をつとめさせていただきます。

北高の伊藤です。TTで城北中学校3年生2時間を担当します。

本年度の活動予定です

- 平成22年度2月の「つまずき調査・学習意識調査」(ポストテスト)のまとめと報告(報告書作成4~6月)
- 平成22年度「つまずき調査・学習意識調査」の報告会と公開授業の実施 7月14日(木)[泉台小・城北中にて]
- 平成23年度「つまずき調査・学習意識調査」の実施(5月調査(プレテスト)、1月調査(ポストテスト))
- 同調査のまとめと報告(要約版作成 プレテスト結果(8月)、ポストテスト結果(3月))
- 同調査の説明会(各校における情報共有・校内継続性の確保のための支援・協同)
- 研究活動と授業実践(日常的にTT等で実施)
- 「北高チューター」の実施(夏の陣、秋の陣)
- IC通信の発行・配布(随時)、自主教材の蓄積と公開を含めたホームページの運営(随時)
- 平成23年度の事業報告と次年度の活動計画(3月)
- 小中高のランドカリキュラムデザインの利用(すべての学年の単元を具体的に見通し、割合・比・関数の概念を「量的二重数直線図(D-Lines)」を用いるなどした授業実践の積み重ね)
- 各階層で正答が得にくい問題・概念をどのように教えるか、その教材開発。共通宿題と各自に合った授業・宿題プリント(3-Stepプリント)の開発
- 小中高でそれぞれ行われる授業研究会や公開授業への参加(9~12月)
- 教育課程研究会への参加(10月)
- 飯水算数数学同好会への参加(5、8、3月)
- 「活用力を問う問題」の開発(各種白書や地理統計・理科年表等を使っての問題開発、及び日常生活に根ざした問題の開発)と利用

早速5月下旬にプレテストとして小学校6年生・中学校3年生・高校2年生の「つまずき調査・学習意識調査」を実施いたします。調査結果速報(概略)を7月の研究会で、22年度調査のまとめ等と合わせて報告する予定です。

昨年度は12月に小学5・6年の担任、中・高の教科担当の先生にお集まりいただいて実施しました。今年度は5月調査(プレテスト)を受けて、もう少し早い時期での実施を検討しています。